



♪輪をつくり 手をつなぎ 共に歌って学ぼう♪

# ひしのみ

山形市立明治小学校  
学校だより  
令和7年11月26日発行  
第8号  
文責：中村 昌彦

## 地域を見つめて-日々の学習から-

### 【4・5年生「水生生物調査」・「稲刈り・脱穀」】

10月9日（木）、「明治地区ユビキタスな癒しの川づくり」委員である村岡喜博様（出羽在住）、秋葉康雄様、東海林和人様のご協力の下、高瀬地区にある「赤石橋」と「灰塚橋」の2か所をマイクロバスで移動して、立谷川の水生生物調査を行いました。昨年は「水すまし賞」をいただきました。今年は記念すべき第20回目の水生生物調査です。出発時に（やや）きれいな水に住んでいる水生生物、きたない水に住んでいる水生生物が載っている「下敷き」をいただきました。それを参考に、立谷川上流側の「赤石橋」、下流側の「灰塚橋」でどんな違いがあるのか、実際に川の中に入って石を動かしたり、網を使ったりして水生生物を採取し、トレイに移して観察しました。「赤石橋」では、コオニヤンマ（幼虫）、トビケラの種類が見られ、「灰塚橋」では、ヒルやミズムシが見られ、し



にも関わらずご協力いただきました村岡様、  
なお、結果は「山形県環境科学センター  
質マップ」に載ります。

かも石がヌメヌメしていました。それでも、双方どちらにも時折小魚も見られ、魚が棲める環境になっていることが分かりました。

水は私たちの生活に欠かせないものであり、それぞれの川をいつまでもきれいにしていくことが、それぞれの地域の使命ととらえた時、明治地区を流れる立谷川の環境を維持したり守ったりするために、何ができるかを考えさせられた半日でした。平日秋葉様、東海林様に感謝申し上げます。

令和7年度「水生生物で見た山形県の河川水

## 【6年生「サトイモ」成長を見届け収穫。】



6年生は、「総合的な学習の時間」の中で、「サトイモ」や「サツマイモ」を育て、その成長の様子を観察したり、収穫したりして、最後に11月28日（金）、「芋煮会」を企画しています。

（それまでの過程について、詳しくは前号（第7号）で、「ひしのみ発表会」の劇発表の中で披露しておりますので、そちらをご覧ください。）

例年、見守り隊や交通安全指導員の方々に来校いただき、「感謝の会」



を行ってきました。今年度は、6年生の中で話し合い、収穫したサトイモを使って「芋煮会」を行い、全校生・教職員、保護者・お世話になった地域の方々に食べてもらいたいという強い願いにより実現することとなりました。6年保護者の方々にはお忙しい中とは存じますが、子ども達の趣旨をご理解いただき、都合のつく方は参加をお願いいたします。

## 「リンゴ贈呈式」毎年ありがとうございます

11月20日（木）の朝、生産者の原田一男様、東海林秀樹様、阿部学様、JAの笹原様をお迎えし、「リンゴ贈呈式」を行いました。

始めに東海林様から、「今日は、『ふじ』というリンゴを収穫して持ってきました。今年は雨が少なかった分、甘くて蜜がたくさん入っています。皆さんにおいしいいただけてもら



えるとうれしいです。どうぞ召し上がってください。」とご挨拶・品種の紹介をしていただきました。その後、各学年の代表者がリンゴの箱詰め（1箱20

個、約20kgの重さ！）をいただきました。続いて児童代表の6年高橋歩夢さんが、「生産者の皆さんで育てたリンゴをたくさんいただきありがとうございます。いただいたことに感謝をし、

給食などでいただきます。」とお礼の言葉を述べました。校長からも、生産者の皆様への感謝を述べた後、「『リンゴ1個で医者いらず』つまり、リンゴを食べることで、医者にもかからないほど身体が丈夫になるということです。たくさん食べて、丈夫な体にしていきましょう。」という話をしました。さっそく昼の給食時に食べ、1個は自宅へ持ち帰ってお家でも食べられるようにしました。生産者の皆様、JAの笹原様、子ども達のためにたくさんのリンゴをいただきありがとうございました。



## 【赤い羽根共同募金・贈呈】

6,911円を山形市社会福祉協議会へ贈呈しました。ご協力ありがとうございました。

